

平成28年度事業報告

1 事業活動の概要

当会は、昭和41年に社団法人として設立されましたが、その後の公益法人改革に伴い、平成25年4月1日に「一般社団法人 科学技術と経済の会」に移行しました。平成28年度は移行後4年目に当たり、前年度に引き続き公益目的支出計画の確実な遂行と、各種事業の充実などに努めました。

創立以来、当会は技術と経営の両輪に立脚し、我が国産業界のグローバルな発展に資するべく、経営研究、人材育成、普及啓発、国際交流、受託・助成調査研究など、広く交流・研鑽の場を提供してまいりました。平成28年度には創立50周年という節目を迎え、50周年記念事業並びに50周年記念式典を実施いたしました。

50周年記念事業としては、(1)会誌「技術と経済」のデジタル出版システムの開発及びデジタル配信サービスの運用を開始いたしました。デジタル化により、全面カラー表示による表現力の強化、強力な検索機能、手元の端末でいつでも閲覧が可能となる、など読者にとっての利便性を大幅に向上することができました。(2)会誌の50周年特集号として、「これからの日本と世界～新たな時代へ向けて」の統一テーマのもとに、日本の産官界の主要リーダー17名から寄稿をいただき編纂いたしました。さらに(3)過去50年にわたるイノベーションの歴史をたどり「科学技術からイノベーションへ」と題して記念出版を刊行し、会員の皆様に配布いたしました。

50周年記念式典は2017年2月14日に執り行いました。当会の法人会員・個人会員の皆様のほか産官学各方面からの来賓も迎え、総勢340人の列席により盛大に行うことができました。記念講演としてはノーベル物理学賞受賞の名古屋大学天野浩先生から「世界を照らすLED」と題する講演をいただきました。

こうして50年という一里塚を通過し、これから次の50年に向けて新たな一步を踏み出すこととなりました。これもひとえに会員の皆様及び関係各位のご支援とご協力の賜物であり、ここに改めて感謝を申し上げます。

さて、当会を取り巻く平成28年度の経営環境について振り返ってみますと、英国のEU離脱を決定した国民投票や実業家トランプ氏の米大統領就任など、大方の予想を覆すできごとがありました。年度内には目立った影響はまだ見えていない状況です。むしろ、日本経済新聞社の総合経済データバンクによると、28年度のGDP実質成長率はプラスの1.3%であり、17年度も1.3%の見通しであるとしており、アベノミクス景気も52ヶ月連続を記録しています。また総務

省が年度末に発表した労働力調査によると、完全失業率は 2.8%とほぼ限界値の低水準であり、雇用環境も着実に改善していると言えます。このように日本経済は概ね順調に推移している状況ではありますが、平成 29 年度は世界各所で地政学的リスクが生まれており予断を許さない一年が想定されます。産業界としてはこうした情勢を慎重に見据えながらも、イノベーションを加速し、積極的にグローバル・ビジネス展開を図っていく機会があると思われま

当会の活動ではこのような流動的な環境の中で、異業種交流による多種多様な思考や新技術の攪拌・昇華により更なる成長と新たな創造への着火剤となるべく活動を推進してまいりました。経営研究事業としては従来通り「技術経営会議」と「明日の経営を考える会」を二本柱とし、その他、ホットなトピックを専門的に扱う研究会も併せて実施致しました。

「技術経営会議」では「オープンイノベーションと新産業創造」を主テーマに掲げ、健康長寿とイノベーション専門委員会、サービス・イノベーションと技術経営懇談会、など時代の要請にあった具体テーマによる委員会を開催し、更に新たに働き方改革専門委員会を発足させるなど、新たな領域への挑戦を実施しました。また、例年 9 月に実施している軽井沢本会議では若手の参加を促すなど新施策を採用し、過去最大の参加者（144 名、内女性 23）をえて、盛況に終了しました。魅力的なコンテンツ提供及び積極的な会員勧誘活動の結果、平成 29 年度より 4 社の新規加入に繋げることができました。

「明日の経営を考える会」では、従来に引き続き「マネジメント研究会」、「ワーキングライフ研究会」など、若手の人材育成活動の一層の充実を図りました。前者は、「いかにイノベティブな企業にするか」をテーマとして研究しました。また後者は、“女性がいきいきと働けるワークライフマネジメントを考える”をテーマとし女性が主体的にダイバーシティ推進に取り組む場を設定し活発な交流を図りました。

「技術競争戦略研究会」については、“日本から世界へ飛躍するオンリーワン企業経営に学ぶ実践的経営学”をテーマに、第 VII 期の研究会を実施しました。イノベーションを起こし、グローバル市場開拓を目指して経営刷新を図っている企業の経営者から「具体的取り組み・経営哲学」をお話し頂くとともに会社見学も交えて実施しました。また特別プログラムとしてベトナムを訪問し、現地での市場開拓の実際を調査しました。29 年度からは本研究会のリフォームを行い、名称もイノベーション実践戦略研究会と変え、ベンチャー企業も取り込んだ新たな企画により、活性化をしていく予定です。

「アジアビジネス研究会」については、平成 25 年度に第 I 期研究会を立ち上げ、平成 28 年度に

は継続して第IV期研究会を実施しました。我が国の技術を活かしたインフラ輸出分野について、情報通信産業・交通産業を主軸に据えたインフラ輸出のための産業界のあり方について調査研究を実施しました。またミャンマー、ベトナムに訪問団を派遣し、インフラ整備並びに工業団地開発における日本の役割についてアジアビジネス状況の理解を促進しました。本研究会は4年にわたり活動を続けて参りましたが、一定の成果は得られたことから本年度をもって集約いたします。

「ライフサイクル・メンテナンス研究会」は社会インフラのライフサイクル全体を見通したメンテナンスのあり方の研究を長期に亘って継続していますが、会員の関心度は相変わらず高く、魅力的なメンテナンス事業という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

センサー&データフュージョン研究会は平成21年から続いてきた「センサーネットワーク研究会」の発展系として発足した新しい研究会で、趣旨をセンサー等デバイスや計測装置から発生するデータからいかに価値ある情報を創り出すか、そのためのイノベーションを起こす仕組みをいかに創るかに焦点を変え、研究会を実施しました。

人材育成事業については上記経営研究事業等を通じて人材育成の強化に努めるとともに、人材育成に焦点を絞った受託型、オーダーメイド型の「ICT研究会」については第7期研究会を開講し、トップマネジメントとのディスカッションや現場研修等の充実強化を図り、主体性のある自立型の闊達な人材の育成に努めました。

普及啓発事業も積極的にその充実強化に努めました。まず、「技術経営・イノベーション賞」については、平成28年度には第5回の表彰対象の選定を行い、平成29年2月にその表彰を実施しました。(文部科学大臣賞1件、経済産業大臣賞1件、当会会長賞3件)。「技術経営・イノベーションシンポジウム」については、平成28年6月に“第4回科学技術・イノベーション賞”の受賞者による記念講演会を実施しました。

月刊機関誌「技術と経済」については前述の通り、内容の充実を図るとともに利便性を高めて発信力を向上するためデジタル配布体制を整備しました。平成29年1月号から個人会員向けにスタートし、法人会員向けには4月開始としました。

「支部活動」については、平成28年度も名古屋支部において、談話会・講演会・企業見学会など、月1回のペースで積極的な充実した活動が展開されました。

受託・助成事業については、(一財)新技術振興渡辺記念会からの調査研究を中心に参画させて頂きました。なお、一般社団法人技術同友会から受託している同会の事務局業務については、同会の積極的な活動展開に伴い、例会、幹事会、委員会、シンポジウム、技術経営士関連業務などに参画しました。

会員の状況については、特別会員(法人会員)は新規入会4社、退会2社(年度末で計94社)と増加しました。長期的な逡減傾向には歯止めがかかった状況となり、新規加入はKDDI(株)、三菱ビルテクノサービス(株)様など幅広い分野の会員の加入をいただき、当会にも新風を吹き込んで頂けるのではないかと期待が膨らんだ一年となりました。一方、個人会員については会員の高齢化が進み退会者が増えたために新規入会14名、退会60名(年度末で367名)となりました。個人会員については本格的な対策が今後の課題として残りました。“永年会員表彰”については、個人会員15名に対し、第50回総会において表彰を行いました。

上記のように50周年記念事業を含め活発な活動を進めた結果、全体事業の規模は前年度比微増となりました。一方、事業収入増の努力と徹底した経費節約を行い、年度事業収支は若干の黒字を確保する事が出来ました。平成28年度、関係各位のご支援、ご協力により、当初の事業計画を達成する事が出来ましたことを厚くお礼を申し上げます。

2 経営研究事業

2-1 技術経営会議

平成28年度は重点方針である“交流・発信・育成”を柱にさらなる改革・発展に向けて業務に取組みました。この結果、各種会合への参加者は増加し、特に女性参加者も増加し、議論や交流が活性化しました。主な活動内容は以下の通りです。

議長	(株)NTTデータ 相談役	山下 徹 氏
	(9/11～) 日本電気(株) 代表取締役会長	遠藤 信博 氏
副議長	(株)竹中工務店 常務執行役員	谷口 元 氏
副議長	日本電気(株) 取締役執行役員常務	江村 克己 氏
	(9/11～) NTTコミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長	船橋 哲也 氏

◇本会議		
開催日	内容	開催場所
第85回本会議 平成28年9月11日 ～9月12日 統一テーマ 「オープンイノベーションとその実践に向けて」	<p>審議事項：活動報告、決算報告、次期役員選任</p> <p>-----</p> <p>特別講演1：科学技術の役割と産業界への期待 講師：国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長 橋本 和仁 氏</p> <p>特別講演2：人工知能研究の最近の動向と今後の展望 講師：国立研究開発法人 理化学研究所 革新知能統合研究センター長 杉山 将 氏</p> <p>-----</p> <p>特別セッション ラウンドテーブル討論 2016</p> <p>テーブル1 テーマ：科学技術イノベーションの実践と産業界への期待 司会：NTTデータ(株) 相談役 山下 徹 氏 講師：内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員久間和生氏 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長 橋本 和仁 氏</p> <p>テーブル2 テーマ：2020 and beyond に向けて今まさに取り組むべき課題 司会：日本電気(株) 取締役執行役員常務 CTO 江村 克己 氏 講師：経済産業省 大臣官房審議官 星野 岳穂 氏 国立研究開発法人 理化学研究所 革新知能統合研究センター長 杉山 将 氏</p> <p>テーブル3 テーマ：次世代の科学技術イノベーション人材育成・女性活躍推進 司会：内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員 原山 優子 氏 講師：(株)IRIS 科学・技術経営研究所 代表取締役社長 Dr. Iris Wiczorek 氏</p> <p>テーブル4 テーマ：稼ぐ力を高める今後の技術経営 司会：(株)竹中工務店 常務執行役員 谷口 元 氏 講師：みやこキャピタル 代表取締役パートナー 菅谷 常三郎氏</p> <p>テーブル5 テーマ：オープンイノベーションと新ビジネス創出 司会：ソニー(株)執行役員コーポレートエグゼクティブ島田啓一郎氏 講師：(株)ZMP 代表取締役社長 谷口 亘 氏</p> <p>パネル討論：オープンイノベーションとその実践に向けて パネラー：NTTデータ(株)(司会)山下徹氏、日本電気(株)江村克己氏、内閣府原山優子氏、(株)竹中工務店谷口元氏、ソニー(株)島田啓一郎氏</p>	軽井沢プリンスホテル

	<p>特別講演 3 : Robot of Everything～人が運転するあらゆる機械にロボット技術を～</p> <p>講師：(株)ZMP 代表取締役社長 谷口 亘 氏</p> <p>特別講演 4 : イノベーション創出のための官・民・学のあり方～IoT、AI の活用による新たな社会価値創造に向けて～</p> <p>講師：日本電気(株) 代表取締役会長 遠藤 信博 氏</p> <p>特別講演 5 : オープンイノベーションと若手・女性への期待</p> <p>講師：BT ジャパン(株) 代表取締役社長 吉田 晴乃 氏</p>	
<p>第 86 回本会議 平成 29 年 2 月 14 日</p>	<p>1) 遠藤議長 ご挨拶</p> <p>AI の進展によりイノベーションにも変化が生じつつある、良いアナリシスと併せて良いデータが重要、など最近の情勢や技術経営会議専門委員会の方向などを含めてのご挨拶。</p> <p>2) 活動状況報告 (常務理事 太田健一郎 より報告)</p> <p>① 2016 年度 9 月～2017 年 1 月の活動報告。</p> <p>② 今後の諸会合の開催日程が説明。</p> <p>3) 2017 年度事業計画案及び活動予算案について (常務理事 太田健一郎 より説明)</p> <p>① 2017 年度事業計画案</p> <p>女性の参加増に関しての施策 (キーパーソン 3 名の内 1 名を女性にして頂く) に関して質疑応答。夏の本会議に会員会社で 1 名無料の案も事務局提案。次回の運営委員会にて正式提案。</p> <p>② 2017 年度予算案</p> <p>海外交流活動の追加に関しては、アメリカ IRI とヨーロッパ EIRMA との交流を検討。</p>	<p>ホテルグラ ンドパレス</p>
◇定例会		
<p>第 89 回 平成 28 年 6 月 7 日</p>	<p>第 4 回技術経営・イノベーションシンポジウム</p> <p>講演 1 : 自動車の次の 100 年に向けた MIRAI の開発</p> <p>講師：トヨタ自動車(株) Mid-size Vehicle Company MS 商品企画チーフエンジニア 田中 義和 氏</p> <p>講演 2 : 航空機用炭素繊維複合材料の開発</p> <p>講師：東レ(株) ACM 技術部 部長 花野 徹 氏</p> <p>講演 3 : 獺祭の取り組み～山口の山奥の小さな酒造だからこそできたもの～</p> <p>講師：旭酒造(株) 代表取締役社長 桜井 博志 氏</p> <p>講演 4 : 世界機長文献資産のデジタル保存における新たな事業モデル構築の取り組み</p> <p>講師：(株)NTT データ 第一公共事業本部 第三公共事業部 第五システム開発担当部長 杉野 博史 氏</p> <p>講演 5 : インターナビのプローブデータを用いた快適安全安心への取り組み</p> <p>講師：本田技研工業(株) 営業企画部 営業戦略室 インターナビ事業ブロックチーフ 菅原 愛子 氏</p>	<p>日比谷図書 文化館</p>
<p>第 90 回 平成 28 年 11 月 8 日</p>	<p>特別講演 I : これからの米国政治とわが国への影響</p> <p>講師：東京大学 法学部 教授 久保 文明 氏</p> <p>メンバースピーチ：コニカミノルタのイノベーション志向経営</p> <p>講師：コニカミノルタ(株) 執行役 事業開発本部長 市村 雄二 氏</p> <p>特別講演 II : 最近の産業技術政策について</p> <p>講師：経済産業省 大臣官房審議官(産業技術環境局担当) 保坂 伸 氏</p>	

◇代表者懇談会		
第19期第4回 平成28年4月20日	講演：経営視点から見る最近のアジア情勢と産業界へのインプリケーション 講師：甲南大学 経営学部 経済学科 教授 安積 敏政 氏	JATES 会議室
第19期第5回 平成28年5月10日	講演：少子化とグローバル化の中で産業界はいかに行動すべきか 講師：政策研究大学院大学 名誉教授 松谷 明彦 氏	
第20期第1回 平成29年10月4日	講演：サービス経済化と日本経済 講師：(独)経済産業研究所 理事・副所長 森川 正之 氏	JATES 会議室
第20期第2回 平成28年12月6日	講演：シリコンバレーを舞台とした次世代サービスイノベーション 講師：Aerial Innovation LLC 最高経営責任者 情報通信コンサルタント 小池 良次 氏	
第20期第3回 平成29年1月17日	講演：超スマート社会実現に向けたセキュリティ基盤のあり方 講師：NTT コミュニケーションズ 情報セキュリティ部 部長 小山 覚 氏	JATES 会議室
◇政策委員会 委員長：(株)NTTデータ相談役 技術経営会議議長 山下 徹 氏		
第16回 平成28年4月19日	議題：今年度の政策委員会の進め方 専門委員会等でこれまで議論された課題の共有 発信・提言を意識した今後の専門委員会の論点への期待 講師：東京工業大学大学院 教授 田辺 孝二 氏	ホテルグラン ドパレス
第17回 平成28年5月31日	講演：産業保安のスマート化～IoT、ビッグデータ、AIの活用を めぐって 講師：経済産業省 大臣官房審議官(産業保安担当)三木 健 氏	JATES 会議室
◇サービスイノベーションと技術経営 懇談会 委員長：(株)ぐるなび 代表取締役会長 CEO 創業者 滝 久雄 氏		
第9回 平成28年5月11日	講演：人事を変えるAI～イノベーションへいかにつなげるか 講師：(株)IGS 社長 一橋大学国際企業戦略研究科特任教授福原正大氏	JATES 会議室
第10回 平成28年6月22日	講演：アドテクノロジーの変遷とビッグデータ時代への向けた展望 講師：Digital Marketing Lab 広瀬 信輔 氏	ホテルグラン ドパレス
第11回 平成28年7月27日	講演：ビットコインを考える、ビットコインから考える 講師：元日本銀行企画局兼信用機構局参事 岩村 充 氏 早稲田大学大学院 (ビジネススクール) 教授	JATES 会議室
◇健康長寿社会とイノベーション専門委員会 委員長：(株)竹中工務店 常務執行役員技術本部長 谷口 元 氏		
第2回 平成28年4月26日	講演：医療・介護・健康を巡る周辺サービス産業について 講師：東京都健康長寿医療センター循環器内科 杉江 正光 氏	JATES 会議室
第3回 平成28年5月20日	講演：タニタが進めるヘルスケアサービス 講師：(株)タニタヘルスリンク 代表取締役社長 吉澤 正樹 氏	
第4回 平成28年6月28日	講演：マチの健康ステーション 講師：宮崎 純 氏 (株)ローソン 常務執行役員	JATES 会議室
第5回 平成28年7月26日	講演：健康をつくる“健康行動デザイン”への挑戦 講師：(株)博報堂 行動デザイン研究所 所長 國田 圭作 氏	
第6回 平成28年9月27日	講演1：食を通じたヘルスケアの可能性と課題 講師：キリン(株) キリン食生活文化研究所長 太田 恵理子 氏 講演2：「健康な睡眠を支えるテクノロジー、その最新動向と課題」 講師：(株)SEA Trinit 代表取締役 友野 なお 氏	産業技術総 合 研 究 所 臨 界 副 都 心 セ ン タ ー
第7回 平成28年11月17日	講演：ヘルスケア・サービス効果計画コンソーシアムの取り組み 講師：産総研イノベーションコーディネータ 三宅 正人 氏 講演：介護・看護サービス 講師：人工知能研究センターサービスインテリジェンス研究チーム 西村 拓一 氏	

	講演：健康増進サービスのための歩行評価技術 講師：人間情報研究部門デジタルヒューマン研究グループ小林吉之氏 見学：生活密着型リビングラボ 解説：人工知能研究センター、生活知能研究センター 北村 浩司氏	
第 8 回 平成28年12月16日	講演：健康経営の現状と課題 講師：(株)フジクラ 健康経営推進室 副室長 浅野 健一郎 氏	JATES 会議室
第 9 回 平成29年1月31日	講演：健康経営による企業価値創造のあるべき姿と実現への課題 講師：東京大学政策ビジョン研究センター特任教授 尾形 裕也氏	JATES 会議室

2-2 明日の経営を考える会

「特徴化経営の推進」を指向する異業種企業が集まり、新しい企業環境に適応する経営研究を進めるとともに、会員相互の交流を強化するため以下のとおり事業活動を推進しました。

[平成 28 年度活動方針]

1. 体制の充実と参加者の維持・増強によりメンバー満足度の向上を図る
2. 企業経営に役立つ情報の発信・流通基地とする

代表幹事 日本電業工作(株) 相談役 岩本 眞 氏 (6月まで)
代表幹事 (株)協和エクシオ 代表取締役会長 石川 國雄 氏
代表幹事 古河電気工業(株) 代表取締役 兼 執行役員専務 小林 敬一 氏 (7月から)

◇例会・個別講演会		
開催日	内 容	開催場所
第 150 回例会 平成28年5月24日	平成27年度「ワキングライフ研究会」、「マネジメント研究会」成果報告 ・ワキングライフ研究会テーマ：女性が生き生きと働けるワークライフマネジメントを考える ・マネジメント研究会テーマ：いかにイノベーティブな企業にするか	ホテルグラ ンドパレス
第 1 回個別講演会 平成28年7月6日	講演：収穫期を迎えた日本企業のアジアビジネス ～世界市場を見渡すならアジア展開の強化は不可欠～ 講師：アジア経済戦略研究所 所長 増田 辰弘 氏	JATES 会議室
第 151 回例会 平成28年8月25日	講演 1：データ活用で未来社会を創造しよう！ 講師：情報未来創研 代表(東京大学 特任教授) 稲田 修一 氏 講演 2：サイボウズ流チームの作り方 ～付加価値を高める人材育成とコミュニケーションの在り方～ 講師：サイボウズ(株) ビジネスマーケティング本部 ワークスタイルエバンジェリスト 和田 武訓 氏	ホテルグラ ンドパレス
第 152 回例会 平成28年11月17日	平成28年度「ワキングライフ研究会」、「マネジメント研究会」中間報告 ・ワキングライフ研究会テーマ：多様な仕事観に応じた女性の働き方を考える ・マネジメント研究会テーマ：事業創出	
第 153 回例会 平成29年1月19日	講演：米国ビジネス 15年から見えるビジネスマインドの違い 講師：米国アシュリオン社 ストラテジック・アドバイザー (前 NTTDOCOMO USA 社長) 前田 正明 氏 会員企業からのショート講演 (会社紹介) 1. (株)ドコモ CS 2. (株)フジクラ	
第 154 回 平成29年3月8日	講演：家電をつくる、ということ。 講師：(株)UPQ 代表取締役 中澤 優子 氏 会員企業からのショート講演 (会社紹介) 1. 住友電気工業(株) 2. ドコモ・システムズ(株)	

◇代表者・幹事会		
第 137 回 平成 28 年 4 月 28 日	<p>審議事項：平成 27 年度決算、平成 28 年度活動予算 報告事項：平成 28 年度活動状況、活動予定 メンバースピーチ：電力自由化ソリューション Energy Viewer の紹介 話題提供者：アイコムシステック(株) 公共・公益ソリューション事業本部 ソーシャル・イノベーション事業部 グループ長補佐 梅本 毅 氏</p>	JATES 会議室
第 138 回 平成 28 年 9 月 13 日	<p>報告事項：会員企業代表者の交代、平成 28 年度活動報告、今後の活動計画 スピーチ：安全施工に対するわが社の取り組み 話題提供者：(株)エクシオテック 代表取締役社長 作山 裕樹 氏</p>	
第 139 回 平成 29 年 2 月 16 日	<p>審議事項：平成 29 年度活動計画、活動予算 報告事項：平成 28 年度活動状況、活動予定 テーマ：G 空間社会の実現に向けた取り組み～屋内測位等のご紹介～ スピーチ：(株)NTT データ 第一公共事業本部 e-コミュニティ事業部 第三ビジネス統括部 第三営業担当部長 磯 尚樹 氏</p>	
◇マネジメント研究会		
<p>コーチ：ウィズン・コンサルティング(株) 代表取締役社長 岡部 泉 氏 テーマ：事業創造 平成 28 年度参加者：9 名 ・キックオフミーティング・合宿（平成 28 年 7 月 1 日～2 日：晴海グランドホテル） ・全体会議（平成 28 年 8 月 9 日、9 月 14 日、10 月 22 日、12 月 7 日、平成 29 年 1 月 14 日、2 月 8 日、3 月 16 日） ・中間報告（平成 28 年 11 月 17 日）</p>		JATES 会議室
◇ワーキングライフ研究会		
<p>テーマ：多様な仕事観に応じた女性の働き方を考える 平成 28 年度参加者：11 名 ・キックオフミーティング（平成 28 年 6 月 22 日） 講演：ハッピー・キャリアの築き方～自分も会社もハッピーに 講師：ジャーナリスト 淑徳大学 教授 野村 浩子 氏 ・研究会（平成 28 年 7 月 22 日、8 月 23 日、9 月 14 日、10 月 14 日、10 月 28 日、11 月 8 日、11 月 10 日、11 月 11 日、11 月 16 日、11 月 30 日、12 月 19 日、平成 29 年 1 月 25 日、2 月 9 日、3 月 6 日） ・サイボウズ見学会（平成 28 年 9 月 7 日） ・中間報告（平成 28 年 11 月 17 日） ・先進企業訪問・有識者ヒアリング (株)日立製作所（平成 28 年 12 月 12 日） 日産自動車(株)（平成 29 年 1 月 12 日） (株)NTT ドコモ（平成 29 年 1 月 30 日）</p>		JATES 会議室
◇見学会		
<p>第 105 回（平成 28 年 5 月 12 日）東京ガス(株) 千住テクノステーション 第 106 回（平成 28 年 7 月 15 日）東京セキスイハイム工業(株) 蓮田工場 第 107 回（平成 28 年 9 月 16 日）セコム(株) SCセンター 第 108 回（平成 28 年 10 月 12 日）横浜環状北線（首都高） 第 109 回（平成 29 年 2 月 3 日）理化学研究所 横浜キャンパス</p>		

◇編集委員会

第 99 回編集委員会（平成 28 年 5 月 27, 28 日：静岡県沼津市(合宿)）

未来シリーズ 第 7 回 ラウンドテーブル（平成 28 年 6 月 8 日）

テーマ：「未来の教育」

講師：昭島市立武蔵野小学校 教育支援員 三木 千栄美 氏

未来シリーズ 第 8 回 ラウンドテーブル（平成 28 年 8 月 3 日）

テーマ：未来の動物園

講師：元 東京都立多摩動物公園 飼育員 吉原 耕一郎 氏

第 100 回編集委員会（平成 28 年 11 月 8 日）

第 101 回編集委員会（平成 28 年 12 月 18 日）

第 102 回編集委員会（平成 29 年 3 月 13 日）

未来シリーズ第 9 回ラウンドテーブル（平成 29 年 3 月 21 日）

テーマ：未来の建築

講師：㈱竹中工務店 技術本部 技術企画部 副部長 企画担当 石川 敦雄 氏

2-3 ライフサイクル・メンテナンス研究会

(1) 活動の概要

社会インフラのメンテナンス事業分野に土木・建設業界はじめ、ICT業界、各種サービス業界などの幅広い産業界が如何に参画し、魅力的なメンテナンス事業を目指していけるか、という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

平成 28 年度は下記のとおり実施しました。

- ・テーマ：社会インフラのライフサイクル全体を見通したメンテナンスのあり方
- ・研究会参加企業数：8 社
- ・委員長：早稲田大学 教授 高田祥三氏

開催日	内容	開催場所
第 127 回研究会 平成 28 年 4 月 19 日	見学：茨城県次世代エネルギーパーク かすみ洋上風力発電、㈱カネカ 鹿島工場 西地区大規模太陽 光発電所、中国木材(株) 鹿島工場 神之バイオマス池発電所	茨城県神栖市
第 128 回研究会 平成 28 年 5 月 31 日	講演：産業保安のスマート化 ～IoT、ビッグデータ、AI の活用をめぐって～ 講師：経済産業省 大臣官房審議官(産業保安担当) 三木健氏	JATES 会議室
第 129 回研究会 平成 28 年 6 月 23 日	講演：状態監視による鉄道メンテナンス業務の革新 ～線路設備モニタリング装置の開発とデータ活用法～ 講師：JR 東日本研究開発センターテクニカルセンター ICT メンテナンス業務革新 PT グループリーダー 瀧川 光伸 氏	JATES 会議室
第 130 回研究会 平成 28 年 7 月 22 日	講演 1：インフラ点検における光学的計測手法の活用と今後の展開 講師：㈱計測リサーチコンサルタント 取締役 クリエイティブ事業部長 西村 正三 氏 講演 2：光ファイバーによる常時モニタリング技術 ～大規模な設備の安全確保～ 講師：㈱レーザック 代表取締役社長 町島 祐一 氏	JATES 会議室
第 131 回研究会 平成 28 年 9 月 20 日	見学：東京メトロ 総合研修センター 講演：東京メトロ 安全への取り組み 講師：東京メトロ 安全・技術部長 浅野裕 氏	東京都江東区 新木場
第 132 回研究会 平成 28 年 11 月 25 日	講演：小型無人航空機・ドローンの最新制御技術とその応用・事例 講師：信州大学 繊維学部 准教授 鈴木 智 氏	JATES 会議室

第 133 回研究会 平成 28 年 12 月 14 日	見学：(国研) 建築研究所 安全・安心で持続可能な住宅・建築・都市の実現に向けて	茨城県つくば市
第 134 回研究会 平成 29 年 2 月 7 日	見学：三菱ビルテクノサービス(株) 教育センター 講演：昇降機の遠隔点検技術と保守業務支援システム 講師：三菱ビルテクノサービス(株) 技術開発本部 将来保守研究室 室長 塩崎 秀樹 氏	東京都小平市

2-4 技術競争戦略研究会

(1) 活動の概要

本研究会は下記のテーマで実施しています。

- ・市場のグローバル化・多様化に対応して如何に柔軟に対応しているか
- ・如何に技術革新にチャレンジし、新しいビジネスモデルを展開しているか
- ・世界に通用する持続可能な実践的経営哲学を如何に確立しているか

第Ⅻ期は、企業を取り巻く環境変化に柔軟に対応して、イノベーションを起こし、グローバル市場開拓を目指して経営刷新を図っている企業の経営者から「具体的取り組み・経営哲学」をお話し頂くとともに会社見学も交えて実施しました。

(2) 第Ⅻ期技術競争戦略研究会

- ・テーマ：日本から世界へ飛躍するオンリーワン企業経営に学ぶ実践的経営学
～経営トップの実体験に学ぶ経営哲学・経営手法～
- ・委員長：政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏
- ・参加企業：16 社

開催日	内 容	開催場所
第 1 回研究会 平成 28 年 4 月 21 日	基調講演：これからの宇宙産業の発展と産業界・企業への期待 講師：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 副理事長 遠藤 守 氏	JATES 会議室
第 2 回研究会 平成 28 年 5 月 11 日	見学：(株)クロスエフェクト 講演：使命の経営 ～世界最速の開発支援企業を目指して～ 講師：(株)クロスエフェクト 代表取締役 竹田 正俊 氏	京都府京都市
第 3 回研究会 平成 28 年 6 月 16 日	講演：ビジュアルコミュニケーション市場におけるパイオニアの目指す将来 講師：(株)ブイキューブ 代表取締役社長 CEO 間下 直晃 氏	JATES 会議室
第 4 回研究会 平成 28 年 7 月 21 日	見学：(株)ベルニクス 講演：ベルニクスの経営戦略と「知的生産の技術と起業」 講師：(株)ベルニクス 代表取締役社長 鈴木 正太郎 氏	埼玉県さいたま市
第 5 回研究会 平成 28 年 8 月 25 日	講演：「社会」と「人間」のあるべき姿の実現に向かって 講師：前田工織(株) 代表取締役社長 前田 征利 氏	JATES 会議室
第 6 回研究会 平成 28 年 9 月 29 日	講演：八面体思想で人と社会に貢献 講師：アイダエンジニアリング(株) 理事 八木 隆 氏	JATES 会議室
第 7 回研究会 平成 28 年 10 月 27 日	講演：キャスレス 社会に向けて 講師：コイニー(株) 代表取締役 佐俣奈緒子 氏	JATES 会議室
第 8 回研究会 平成 28 年 11 月 17 日	見学：日本電鍍工業(株) 代表取締役 伊藤 麻美 氏 講演：トキメキと煌めきを失わず、前向きな姿勢で Challenge 講師：日本電鍍工業(株) 代表取締役 伊藤 麻美 氏	埼玉県 さいたま市
第 9 回研究会 平成 28 年 12 月 15 日	見学：(株)アマダ 講演：将来のモノづくりと板金加工業界のトレンド 講師：(株)アマダ 執行役員グローバル特販部門長 菊地信之 氏	神奈川県 伊勢原市

第10回研究会 平成29年1月19日	講演：建築CADシステムそして空間情報システムへ 講師：(株)インフォマティクス 取締役会長 長島 雅則 氏	JATES 会議室
第11回研究会 平成29年2月15日 ～2月18日	特別プログラム ベトナム企業見学 富士通ベトナム・フジキン・日系企業他	
第12回研究会 平成29年3月29日	講演：IOT、インダストリ4.0を日本の中小企業が使い倒す？ 講師：委員長 政策研究大学院大学 名誉教授 橋本久義氏	JATES 会議室

なお本研究会は、29年度から名称をイノベーション実践戦略研究会と変え、ベンチャー企業も取り込んだ新たな企画により、活動を継続していく予定です。

2-5 ICT研究会

クラウドコンピューティングやスマートフォンの急速な普及など、ICTシステムは益々重要になっています。今後のICT事業の成長を促進し、ICT技術、ソリューションをリードしていくことの出来る、自律的な人材の育成を目的として、ICTに関わる企業の中堅幹部、エンジニアの方を対象に、幹部対話会や企業訪問研修等の活動を充実・強化して推進しました。

・参加社：9社

2-6 センサー&データフュージョン研究会

センサー等デバイスや計測装置から発生するデータからいかに価値ある情報を創り出すか、そのためのイノベーションを起こす仕組みをいかに創るかに焦点を当て、サプライ側、ユーザー側、学界等、各領域の研究で活躍している方を講師として招きその領域での課題、研究要素、ビジネス化の課題等を認識・議論しました。

委員長：現健康増進ネットサービス合同会社代表社員、元ソニー(株)上席常務 渡辺 誠一 氏		
開催日	内容	開催場所
Adhoc Meeting 平成28年5月9日	テーマ：インダストリアル・ビッグデータとIoTの動向と最近の進展について（「Trends and Recent Advances of Industrial Big Data Analytics and IoT for Manufacturing and Service Transformation」） 講師：Prof. Jay Lee, Ohio Eminent Scholar, L.W. Scott Alter Chair, and Distinguished Univ. Professor, Univ. of Cincinnati	JATES 会議室
第1回研究会 平成28年6月2日	講演1：スマートメーター最近の動向 講師：大崎電気工業(株) 営業本部 副本部長 堀 長一郎 氏 講演2：「スマートグリッドの動向一事例」 講師：(一社)科学技術と経済の会 常務理事 太田健一郎	JATES 会議室
第2回 平成28年6月27日	講演：人工知能が医師の診療を支援 講師：自治医科大学 地域医療情報学部門 藍原 雅一 氏	JATES 会議室
第3回 平成28年10月19日	講演：人工知能が変える医療・ヘルスケアの未来 講師：(株)情報医療 代表取締役 原 聖吾 氏	JATES 会議室
第4回 延期により 平成29年2月1日	講演：企業変革を支える人事戦略とタレントマネジメント 講師：日本オラクル(株) クラウド・アプリケーション事業統括 HCMクラウド統括本部エンタープライズ営業部長 小野りちこ氏	JATES 会議室

第5回 平成29年1月20日	講演：協創による価値創造 社会イノベーション 講師：(株)日立製作所 アドバイザー 岩田 真二郎氏	JATES 会議室
第6回 平成29年3月27日	講演：イノベーションを生み出すリーダーと人材育成 講師：多摩大学大学院経営情報学研究科 研究科長 教授 徳岡 晃一郎氏 (キーマン研究会と合同開催)	ホテルグラン ドパレス

2-7 JATES 特別国際講演会

平成28年6月17日 (JATES 会議室)

演題：「パークレー化学学校の紹介とパークレー・カタリスト・ファンドの計画について」

講師：Douglas S. Clark, Dean of the College of Chemistry and Professor in the Department of Chemical and Biomolecular Engineering at the University of California, Berkeley.

2-8 アジアビジネス研究会

第Ⅳ期の研究会では、第Ⅲ期の研究会スタイルをほぼ踏襲する形で、即ちビジネス実践上必要とされる現地リスクマネジメントに関するテーマ研究についてケーススタディでの理解を深めるとともに、会員相互の議論を通じて相互の知見を共有しあう研究会とするとともに、我が国の技術を活かしたインフラ輸出の拡大を図る「経協インフラ戦略会議」を支援するため、情報通信産業・交通産業を主軸に据えたインフラ輸出のための産業界のあり方を追求しその実現をより実効ある形にするための調査研究を実施しました。具体的活動は下記のとおりでした。

また、有志による北九州市の低炭素化センターの訪問を実施し、その活動ぶりを見聞して、アジアビジネスに関する知見を高めました。

なお本研究会は4年にわたり活動を続けて参りましたが、一定の成果は得られたとの認識のもと本年度をもって一旦終了いたします。

委員長：日本電信電話(株) 顧問 宇治 則孝 氏

開催日	内容	開催場所
第1回 平成28年4月26日	講演：総務省の国際展開について 講師：総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 調整官 柴山佳徳氏 講演：インフラシステム海外展開の取り組み 講師：国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課 課長 平井 節生 氏	ホテルグラン ドパレス
第2回 平成28年5月26日	ケース発表①：アジア域内における ICT インフラ輸出関連の取り組みについて 講師：NTT コミュニケーションズ(株) 第三営業本部 営業部長 田畑 雅章 氏 ケース発表②：都市間関連に基づいた都市インフラシステムの海外展開 －北九州モデル活用事例を中心に－ 講師：エム・アイ・コンサルティンググループ(株) 代表取締役 大上 二三雄 氏	経団連会館
第3回 平成28年6月29日	講演：ASEAN の日系企業の現地での活動実態と課題 講師：JETRO 海外調査部 アジア大洋州課 課長代理 水谷 俊博氏 講演：アジアにおけるインフラ輸出促進のための JICA の取り組み 講師：JICA 企画部 参事役 小林 秀弥 氏	ホテルグラン ドパレス

第4回 平成28年7月21日	講演：ティラワ SEZ の現状 講師：住友商事(株)海外工業団地部第1チーム課長代理渡邊達也氏 ケース発表③：NTT データミャンマーの設立プロセスとそこで分かったこと 講師：(株)NTT データ IT サービス・ペイメント事業本部放送・情報サービス 事業部長 堀川 雅紀 氏 前 (株)NTT DATA Myanmar Co., Ltd. 社長 「技術同友会による海外インフラ輸出に関する提言について」事務局	ホテルグラ ンドパレス
第5回 平成28年9月27日	ケース発表④：今後のインドネシアへの情報通信放送インフラ輸出 の可能性ーインドネシア マクロ情報及び国特性ー 講師：(株)コーポレート・ディレクション Public & Technology チーム担当 パートナー 奥村 文隆 氏 ケース発表⑤：ミャンマーにおける通信インフラ輸出の現状と今後の課題 講師：日本電気(株) 中華圏・APAC 本部 主任 新井 亮太 氏	ホテルグラ ンドパレス
第6回 平成28年10月28日	ケース発表⑥：ASEAN で持続可能な I T サービスの拡大に向けて ーインドネシアの事例についてー 講師：PT. NTTDATA CEO 大谷 明 氏 講演：海外インフラビジネスの課題ーコンサルタントの視点からー 講師：(株)カズレールウェイコンサルタント 代表取締役社長 田中一弘 氏	ホテルグラ ンドパレス
第7回 平成28年11月13日 ～17日	特別プログラム ミャンマー（ヤンゴン）、ベトナム（ハノイ）の2カ国訪問 チャイナ+1の視点から、インフラ整備並びに工業団地開発に おける日本の役割について見聞を広げる	
第8回 平成28年12月2日	特別プログラム報告会並びに第4期アジアビジネス研究会総括 委員長 日本電信電話(株) 顧問 宇治 則孝 氏	ホテルグラ ンドパレス

◇特別プログラム 参加者：総勢22名（委員長、事務局2名含む）

訪問国	訪問日	訪問先 ・ 現地対応者
ベトナム	11月14日	・(株)富士通ベトナム、(株)富士通アキサイファーム、在ベトナム日本国大使館、東京地下鉄(株)
	11月15日	・タンロン工業団地管理事務所、パナソニックアプライアンスベトナム(有)、NTTコミュニケーションズ(ベトナム)(株)
ミャンマー	11月16日	・シュエダ・ゴン・パコダ、オウジ・ミャンマー・パッケージング(株) 王子アジア、ティラワSEZ管理事務所
	11月17日	・三井住友建設ヤンゴン事務所、NTTデータミャンマー、ミンガラドン工業団地

2-9 FF会

当会が企画・運営の支援を行っているFF会は、原則として毎月第4金曜日に開催し、科学技術等に係わる諸問題についての卓話とそれに基づく議論を行っています。平成28年度は「30年後の日本をデザインする」をテーマに掲げて、例会9回、見学会2回、研修会1回を支援しました。

3 普及啓発事業

3-1 月刊機関誌「技術と経済」の発行

科学技術と経済の会の各研究会の活動成果を広く普及啓発するため、各研究会の講演録を主体とする構成とし、日本MO T学会の査読論文も加えて、掲載記事の内容の充実を図りました（特集テーマについてはWebサイトに掲載）。

平成29年1月号よりデジタル配信を開始し、まず個人会員を対象に実施に移し、引き続き法人会員への実施を準備しました。なお、当面は製本版の提供も継続する予定です。

発行号数は平成28年度末で601号となりました。

3-2 「技術経営・イノベーション賞」の表彰実施

平成28年度の「技術経営・イノベーション賞」は、優れたイノベーション案件の幅広い発掘を重点にするとともに、協賛機関として（一財）新技術振興渡辺記念会の参加を得て実施しました。

(1) 第5回表彰式 平成29年2月14日 ホテルグランドパレス

- ①主催者挨拶：（一社）科学技術と経済の会会長 野間口 有
- ②来賓挨拶：文部科学省 科学技術・学術政策局長 伊藤 洋一 氏
経済産業省 大臣官房審議官 保坂 伸 氏
- ③受賞テーマと受賞者

表彰	テーマ	受賞者
文部科学大臣賞	革新的な浄水技術が途上国社会を変える	POLY-GLU SOCIAL BUSINESS(株)
経済産業大臣賞	NAND型フラッシュメモリの実用化とさらなる大容量・低価格化に向けた技術開発	(株)東芝
科学技術と経済の会会長賞	日本発世界初の特殊ペプチド創薬開発プラットフォームシステムによる新薬開発のイノベーション	ペプチドリーム(株)
科学技術と経済の会会長賞	デジタルプロダクションシステム(Viscotecs)のパーソナルオーダーシステムへの進化	セーレン(株)
科学技術と経済の会会長賞	生産者から経営者へ” Akisai” で農業経営にイノベーションを	富士通(株)

3-3 ホームページの活用

会員や社会との情報共有に向けて、主なイベント情報、研究会情報等の迅速かつ明確な内容の掲載を行い、情報発信力の強化を図りました。

3-4 名古屋支部の活動

支部活動を通じた会員相互の緊密な連携を図るため、談話会（10回）及び講演会ならびに企業見学会（1回）等の活動を実施しました。

4 国際活動事業

アジアビジネス研究会の活動の一環として、ベトナム・ミャンマーに訪問団を派遣しました。アジア諸国のインフラシステム事業の実態把握と更なる推進のための課題調査、リスクマネジメントの実態調査、マネジメントの実態把握と、今後に向けての課題調査等、インフラ整備並びに工業団地開発における日本の役割について見聞を広げた。

また技術競争戦略研究会の活動では、特別プログラムとしてベトナムを訪問し、現地に進出している日本企業などを中心に現地での市場開拓の実際を調査し、チャイナプラスワンとしての事業環境のメリットや課題、さらに人材育成の実態を把握した。

5 受託・助成事業

平成28年度は下記の受託・助成事業を実施しました。

5-1 IOE時代のインダストリー・プラットフォームに関する調査研究」（受託研究）

- (1) 委託機関：（一財）新技術振興渡辺記念会
- (2) 期間：平成27年10月～平成29年2月
- (3) 調査研究の概要：

情報通信技術の一層の進展により、あらゆる”モノ”や”コト”をインターネットでつなぐIoT（Internet of Things）/ IoE（Internet of Everything）技術が、今後の産業界・一般社会でのイノベーションを生み出すと言われる。ドイツは既に2011年末

に IoT を用いた産業の高度情報化戦略「Industrie 4.0」計画を打ち出しており、米国では GE を中心に最新の経営戦略と言われる”プラットフォームビジネス戦略”も視野に入れた「Industry Internet」計画を立ち上げている。日本企業は技術には強いが収益を上げるのが不得手とされる。IoT/IoE 技術の活用と共に、その収益化に繋がるプラットフォームビジネス手法について先行して学んでおくことが日本企業にとって重要である。これまでの経営研究活動の成果を背景に、産業界および政府施策に資するべく調査研究を行った。

5-2 ヘルスケア産業における人工知能技術の活用可能性に関する調査研究(研究助成)

- (1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成 28 年 4 月～平成 28 年 9 月
- (3) 調査研究の概要：

カルテの電子化やセルフ健康チェック進展により多様な心身情報が生み出されつつある。それらから未病を早期に発見し健康に役立てるには、多元的なデータ解析、深い知識と能力が求められる。そこで人工知能技術の活用可能性に関する調査研究を行った。

5-3 人事や人材育成における AI・ビッグデータ活用に関する調査研究 (研究助成)

- (1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月
- (3) 調査研究の概要：

産業界およびあらゆる組織にとって人事は基本であり競争力の源泉であるが、現状はアナログ的定性的で、暗黙知化されている部分が多い。採用・研修・評価・配置等人事業務へのビッグデータや AI 等最新科学技術応用に関する調査研究を行った。

5-4 事務局受託業務

- (1) 委託機関：(一社) 技術同友会
- (2) 契 約 日：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月
- (3) 業務概要：例会・幹事会・委員会運営、助成事業、技術経営士認定制度関連事務等

6 永年表彰

永年会員表彰：個人会員 15名

7 創立 50 周年記念行事

7-1 記念式典

日 時:2017 年 2 月 14 日(火) 15:00～19:30

場 所:ホテルグランドパレス (ダイヤモンドルーム)

出席者数:約 340 名

「記念式典」

- | | | |
|------------|-----------------------------|----------|
| 1. 会長挨拶 | (一社)科学技術と経済の会 会長 | 野間口 有 |
| 2. 50年のあゆみ | (一社)科学技術と経済の会 専務理事 | 村野 和雄 |
| 3. 来賓祝辞 | 文部科学省 大臣政務官 | 田野瀬 太道 氏 |
| | 経済産業省 大臣官房審議官(産業技術環境局担当) | 保坂 伸 氏 |
| | (国研)科学技術振興機構 特別顧問 | 吉川 弘之 氏 |
| 4. 記念講演 | 名古屋大学 教授 (2014 年ノーベル物理学賞受賞) | 天野 浩 氏 |

演題：世界を照らすLED

「記念レセプション」

- | | | |
|----------|---------------------------------------------|-------------------|
| 1. 主催者挨拶 | (一社)科学技術と経済の会 副会長 | 石田 寛人 |
| 2. 祝 辞 | 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
(国研)理化学研究所 理事長 | 久間 和生 氏
松本 紘 氏 |
| 3. 乾 杯 | (一財)新技術振興渡辺記念会 理事長 | 武安 義光 氏 |
| 4. 中締挨拶 | (一社)科学技術と経済の会 副会長 | 貝淵 俊二 |

7-2 記念書籍の出版

当会が行ってきた調査、講演記録、その他資料をまとめ、補筆、追加を加えてこれまでの活動を振り返るとともに、これから科学技術と経済、あるいはイノベーション活動に従事する方々の参考に資するため、下記の記念出版書籍 600 部を制作し、式典参加者へ記念品として無料配布しました。さらに今後とも関係省庁、関係企業、団体、関係各位に無料配布していく計画です。

題名：「科学技術からイノベーションへ」(A5判、全 652 ページ)

7-3 機関誌「技術と経済」特集号(2017年1月号)の発行

機関誌「技術と経済」2017年1月号は、30～50年先の将来志向の観点から下記の方々よりメッセージをいただき、特集号「これからの世界と日本～新たな時代へ向けて～」として発行しました。

【祝辞】 文部科学省 伊藤洋一氏
経済産業省 末松広行氏

【寄稿】 内閣府 久間和生氏	内閣府 原山優子氏
日本経済団体連合会 榊原定征氏	経済同友会 小林喜光氏
(株)IHI 満岡次郎氏	(株)大林組 白石達氏
(株)ぐるなび 滝久雄氏	住友電気工業(株) 松本正義氏
東京ガス(株) 救仁郷豊氏	トヨタ自動車(株) 内山田竹志氏
日本電気(株) 新野隆氏	日本電信電話(株) 鵜浦博夫氏
東日本旅客鉄道(株) 富田哲郎氏	(株)日立総合計画研究所 白井均氏
富士通(株) 田中達也氏	古河電気工業(株) 柴田光義氏
三菱電機(株) 柵山正樹氏	

8 会の動き

8-1 会員数

平成28年度末における個人会員、特別会員の状況は下表のとおりとなりました。名誉会員は佐々木元、武安義光、豊田章一郎の3氏であります。

区 分	平成27年度末	平成28年度末	平成28年度		増 減
			入会	退会	
個人会員	413	367	14	60	△46
特別会員	92	94	4	2	2

8-2 事務局

平成 29 年 3 月 31 日現在の職員は 15 名で、内訳は、技術経営会議 3 名、明日の経営を考える会 1 名、調査研究部 2 名、事業部 3 名、編集部 1 名、技術同友会事務局 2 名、総括部 3 名で構成しています。この中 8 名は出向者です。

8-3 諸会議

開催日	内容	開催場所
第 156 回理事会 平成 28 年 4 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">平成 27 年度事業報告・決算報告(案)について平成 27 年度公益目的支出計画実施報告(案)について会誌のデジタル配信について個人会員会費の納入について	JATES 会議室
第 50 回通常総会 平成 28 年 5 月 30 日	<ul style="list-style-type: none">平成 27 年度事業報告・決算報告(案)について平成 27 年度公益目的支出計画実施報告について会誌のデジタル配信とそれに伴う会費規程の一部改訂(案)個人会員会費の納入について	ホテルグラ ンドパレス
第 157 回理事会 平成 28 年 10 月 26 日	<ul style="list-style-type: none">平成 28 年度上期事業報告について第 5 回技術経営・イノベーション賞の実施状況についてJATES 50 周年記念事業実施計画について平成 28 年度上期代表理事・業務執行理事業務報告について会員の増強についてのごお願い	JATES 会議室
第 158 回理事会 平成 28 年 3 月 17 日	<ul style="list-style-type: none">平成 29 年度事業計画・収支予算(案)について創立 50 周年記念式典の実施について第 5 回「技術経営・イノベーション賞」表彰の実施について次期総会における永年会員感謝状贈呈者平成 28 年度下期代表理事、業務執行理事業務報告について	

【事業報告の附属明細書】

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。